

こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blogです

アーカイブ: 2009年12月

2009/12/31

📅 00:19:17, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 1205 

詩の歳時記—365 「初夢」



初夢のなかをどんなに走ったやら

飯島晴子

夜更けに目覚めた
実像と虚像とが交錯する時間
なにを追っていたのか
それとも逃げようとしていたのか
孤島にも似ているベッドで...

[6 コメント](#) • [編集](#)



2009/12/29

📅 01:39:02, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 937 

詩の歳時記—364 「初暦」

こくりこ日記

高田昭子のb2evolution blog
[吸殻山383番地の家に戻る。](#)
[中央1番地に戻る。](#)

- [最新](#) (キャッシュ)
- [最新](#) (キャッシュされない)

2009年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3		
6	7	8	9	10		
13	14	15	16	17		
20	21	22	23	24		
27	28	29	30	31		
<< <						

- [最近のコメント](#)

Heavy Hitters

- [Test](#) (20 visits)
- [詩の歳時記—117](#) (19 visits)
- [詩の歳時記—82](#) (19 visits)
- [詩の歳時記—56](#) (19 visits)
- [花守](#) (19 visits)
- [Walking1日目。](#) (18 visits)
- [引用文—23・あきらめ](#)
- [詩の歳時記—274](#) 「あ」 (18 visits)
- [詩の歳時記—253](#) 「柳」 (18 visits)
- [詩の歳時記—123](#) 「桜」 (18 visits)
- [ペルギーノ展](#) (18 visits)
- [かぼちゃな一日](#) (18 visits)

検索



初暦知らぬ月日は美しく

吉屋信子

未知の日々を卓上に置いて
過ぎた日々の長さを思う
ひどく不均衡な未知と過去の天秤
それでも明日は陽が昇るのだろう。
見えぬものに会釈するだろう。

[編集](#)


2009/12/27

📅 14:20:15, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 1426

詩の歳時記—363 「大晦日」

- ☒ 全ての語
☐ いずれかの語
☐ フレーズ

[検索](#)

カテゴリ

- [All](#)
- ☐ [百人百詩](#) (100)
- ☐ [詩の歳時記](#) (365)
- ☐ [詩日記](#) (20)
- ☐ [My Haiku](#) (49)
- ☐ [Walking](#) (13)
- ☐ [引用文](#) (31)
- ☐ [日記](#) (163)

[選択](#)

アーカイブ

- [2015年11月](#) (1)
- [2015年7月](#) (1)
- [2015年5月](#) (2)
- [2015年3月](#) (3)
- [2015年2月](#) (2)
- [2015年1月](#) (3)
- [2014年12月](#) (2)
- [2014年11月](#) (2)
- [2014年10月](#) (3)
- [2014年9月](#) (2)
- [2014年8月](#) (2)
- [2014年7月](#) (2)
- [続き...](#)

いろいろ

- [管理](#)
- [プロフィール](#) (admin)
- [ログアウト](#) (admin)



このブログの配信 

- RSS 0.92: [投稿](#), [コメン](#)
- RSS 1.0: [投稿](#), [コメント](#)
- RSS 2.0: [投稿](#), [コメント](#)
- Atom: [投稿](#), [コメント](#)

[What is RSS?](#)

powered by
b2evolution

長旅の川いま海へ大晦日

相生葉留実

ささやかな仕事を繰り返し
善良で清潔な日々でした。
わたくしの川は河口までできました。
山峰ではいつでも真新しい水がうまれている。
もういいだろう。 母の海へ還ろう。

[7 コメント](#)・[編集](#)



2009/12/21

📅 12:41:55, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 1016 

詩の歳時記—362 「冬の浪」



冬の浪従へるみな冬の浪

山口誓子

こころのあたりに
繰り返し繰り返し
こごるような水輪が拡がる時がある
海も空も季節も
ひとの内部にはあるらしい

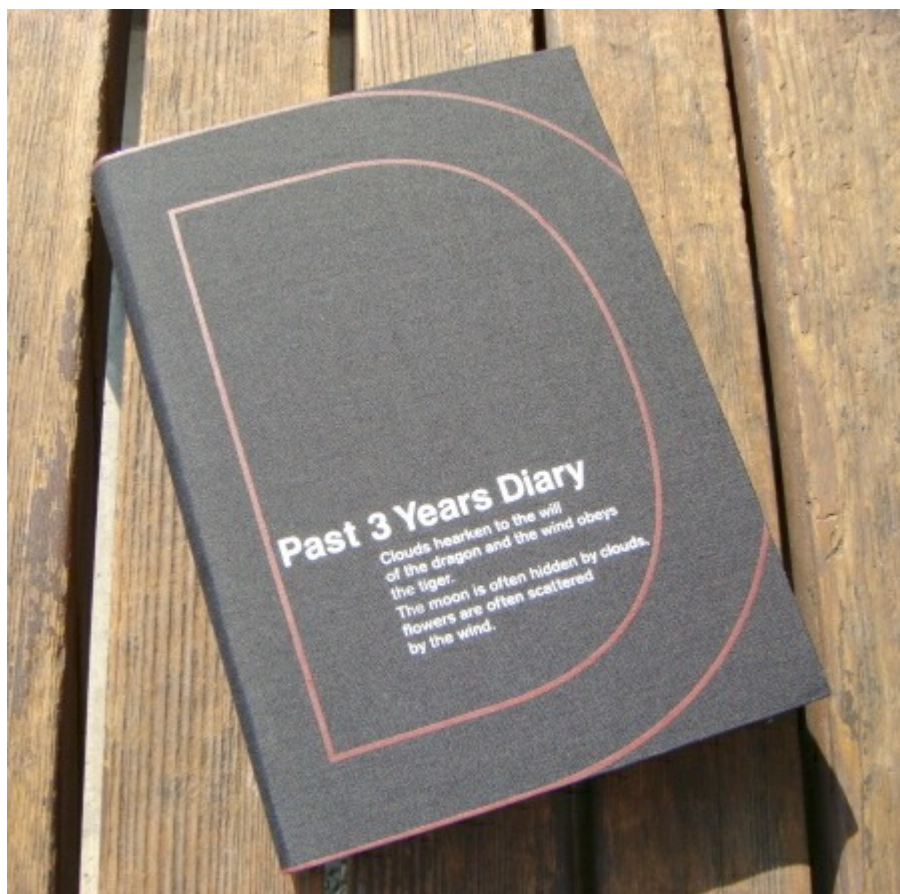
• [編集](#)



2009/12/18

📅 13:01:13, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 834

詩の歳時記ー361 「日記買ふ」



日記買ふ未知の月日に在ることく

中村秀好

カールじいさんは
ヘリウムガス入りの無数の風船をつけて
空飛ぶ家で冒険したのよ
いつでも旅に出る理由がある
あこがれは楽しく苦しい

<http://www.disney.co.jp/movies/carl-gsan/index.html>

• [編集](#)



2009/12/16

🕒 01:51:13, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 754 🇯🇵

詩の歳時記—360 「枯野」



標的となるかもしれぬ枯野行く

小嶋洋子

自分で見ることのできない
枯野を歩いているわたくしの背中
あなたには見えるでしょう
撃ってみなさい
逃げも隠れもしないから。

[4 コメント](#)・[編集](#)



2009/12/14

🕒 22:49:42, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 650 🇯🇵

詩の歳時記—359 「冬眠」



冬眠すわれら千の眼を売り払い

中谷寛章

星の数にも及ばぬ
二千個をたたき売って
君と冬眠しようよ
ぬくい体温を寄せあって
ひたすら眠ろうよ

・編集



2009/12/11

🕒 15:31:46, カテゴリ: 詩の歳時記, views: 695 🇯🇵

詩の歳時記—358 「ひと逝きて」



ひと逝きて枯れぬひまわり天に咲く

高田昭子

ひとりのをとこが逝った
しあわせな生涯だったと
をんなには言わないままに。
冬の天空にひまわりの群生
そのひかりがをんなには見える。

• [編集](#)



2009/12/10

🕒 02:12:48, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 753

詩の歳時記一357 「雪の夜」



雪の夜や体重計という孤島

柴田千晶

夜は青い海のような闇
深夜を告げる時計の音
わずかに滴を落としているからだ
孤島で計るいのちの重さ
あるいは満ちてくる潮の……

[2 コメント](#) • [編集](#)



2009/12/08

🕒 16:19:54, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 648

詩の歳時記一356 「水漬」



水洩や鼻の先だけ暮れ残る

芥川龍之介

死んだ友がいる
わたくしもいずれ死者となる
今はただ
暮れ残る冬空の下
クシャミをしているだけだが……

• [編集](#)



2009/12/05

🕒 22:18:29, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 749 🇯🇵

詩の歳時記—355 「冬の夜空」



枕には冬の夜空をつめて寝る

野村秋介

冬の夜
石の部屋で眠る男の枕には
冬空の星々がひしめいているのだった
かすかな温もり
耳のなかの音楽

[2 コメント](#)・[編集](#)



2009/12/03

🕒 21:34:19, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 618

詩の歳時記—354 「枯菊」



枯菊や日々に覚めゆく憤り

萩原朔太郎

覚めてゆくものがある
愛 憤り 思い出
似ているようで似ていない
本当に覚めてゆくものはなにか？
君にわかるわけがないだろう？

• [編集](#)



2009/12/02

🕒 01:44:51, カテゴリ: [詩の歳時記](#), views: 735 

詩の歳時記ー353 「冬浅し」



冬浅し八幡宮の大をとこ

高田昭子

江戸の大関 明治の横綱
大をとこの称号
背丈 手足の大きさ 大盛のめし
小女は六分 大女は八分
二度のめしは手前にて...

<http://www.tomiokahachimangu.or.jp/htmls/sumou.html>

• [編集](#)



Original template design by [François PLANQUE](#).

